

1 文章を書くときの技 — 生活作文を書いてみよう —

年 組 名前

作文を書くときに、「何を書こうかなあ」「どんな題名にしようかなあ」といっただことはありませんか。

今回は、作文を書くときのポイント「技」を紹介します。



かける君「ううん、いやだなあ。」

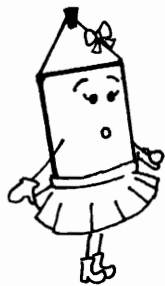
さくちゃん「どうしたの。」

かける君「作文が宿題にでただけで、

何を書いたらいいかわからないんだ。」

さくちゃん「まず、題材をさがしてみたら、

学校生活の中でできごとをいっぱい思い出してみよう。」



かける君「どうやって。」

さくちゃん「ヒントを出してあげるから、

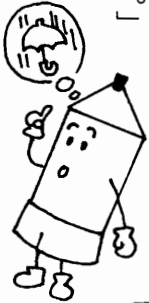
思い出したことを答えてね。ううん、

たとえば、この前の遠足はどうだった。」

かける君「おべんとうがおいしかった。」

さくちゃん「それで。」

かける君「でも雨が降ってきたんだ。」



さくちゃん「それで。」

かける君「かさをさしてみんなでわいわい言って

食べたけれど、それもおもしろかったよ。」

さくちゃん「だんだん思い出してきたね。

次にいくよ。クラブ活動では。」

かける君「クラブ発表会の準備をしたよ。」

さくちゃん「そうそう、そうやっているいろいろ

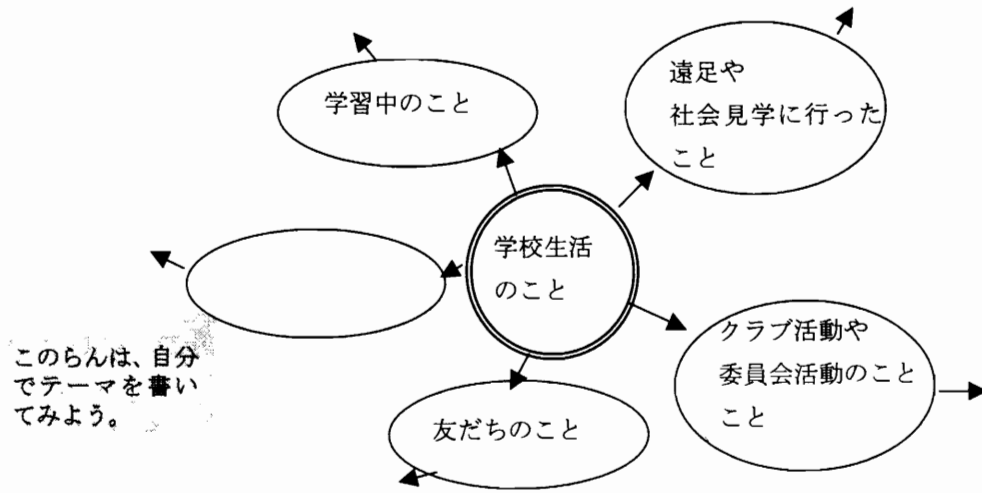
集めたらいいのよ。」

こんなふうに図に書いてみたら。」



かける君「これならたくさん思い出しそうだな。いろいろ集めてみるよ。」

だいぼしゅう
学校生活のこと なんでも大募集



あなたも学校生活の
できごころを思い出し
て書いてみよう。

技1 たくさん集めよう

年 組 名 前



年 組 名前

技2 伝えたいことを決めよう

題材がたくさん集まったら、一番伝えたいことを一つ決めましょう。
 前のページの図から一番伝えたいことを選んで、それを赤えんぴつで印を入れましょう。

さくちゃん「何にしたの。」

かける君「運動会の組み立て体操のことにしたよ。」

さくちゃん「できごとだけじゃなくて、その時の気持ちも書いたらいい作文になるよ。」

たとえば、**〇〇した時の□□の気持ち**という形でメモを取ってみたら。」

(例) かけるくんのメモ

<p>〇〇したときの</p> <ul style="list-style-type: none"> () 最初の隊形にならぶ時の () 苦手の倒立ができた時の (○) 力を合わせてピラミッドが完成した時の () 見ている人から拍手をもらった時の 	<p>□□の気持ち</p> <p>きんちようしてときどきした気持ち うれしかった気持ち やったあとという気持ち じまんしたい気持ち</p>
--	---

特にくわしく書きたいことがらを決めて () () の中に○を入れよう。
 あなたも一番伝えたいことについて書いてみよう。

<p>〇〇したときの</p> <ul style="list-style-type: none"> () () () () 	<p>□□の気持ち</p>
--	----------------------

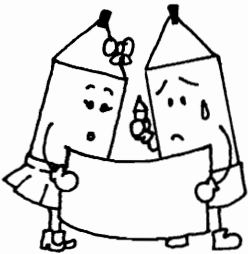
年 組 名前

技③ 書き出しを工夫しよう

かける君「書いてみたけどうまくいかないんだ。」

さくちゃん「どんな書き出しなの。」

かける君「九月二十八日、待ちに待った運動会がやってきました。ぼくは、リレーと組み立て体操に出ました。」



さくちゃん「それは『いつ・どこで・何があったか』を最初に書いたパターンね。読む人

をひきつけるために、『初めに伝えたいことを書く』の効果があるよ。」

かける君「たとえば、どんなふうに。」

さくちゃん「そうね、かける君のメモをから考えたら…、こんなのはどう。『プログラム

をみて、組み立て体操の順番を待ちながら、はらはらしていました。』

かける君「そうか、一番伝えたいことを最初に短く書いて、それをどんどんくわしく書いていけばいいね。」

さくちゃん「会話文や音を使って書くのもいいよ。」

かける君「やってみるよ。できた。『次はいいよいよ六年生の組み立て体操です。』先生が言った。組み立て体操の隊形にならぶ時に、ぼくの心臓はどきどきした。」

みなさんも、

○ 初めに伝えたいことを書く

○ 会話文や音を使って書く



などの「技」を使って、書き出しを工夫してみましょう。

Four vertical columns of empty boxes for writing practice.

年 組 名 前

技4 いろいろな表現を考えよう

かける君「さくちゃん、『倒立ができてうれしい』『ピラミッドが完成してうれしい』とか、なんでも気持ちが『うれしい』になっちゃおうね。さくちゃん『うれしい』とか『かなしい』などのことばを使わないで、表情や、体の動きを表現したり、たとえを使ったりするといいかも说不定だよ。」

ふきだしの中に、ほかの言い方も考えてみよう。

思わず飛び上がった。こっぴつた。

「おもしろい」を「おもしろく」にしよう。

うれしい

かなしいと「かなしい」を「かなしい」にしよう。

悲しい

いたくさんの言



年 組 名 前

技5 題名を工夫しよう

かける君「せっかくながら書いて書いた作文だから、題名もかっこよくつけたいな。」

さくちゃん「読む人が『読んでみたいな』『何が書いてあるのかな』とワクワクするよ

うな題名がいいね。」

かける君『組み立て体操完成』というのはどう？」

さくちゃん『完成』だけでも、インパクトがある題名だよ。」

かける君「くわしく長い題名にしなくてもいいんだね。いろいろ考えてみよう。」

(例) かける君の考えた題名

- ・ 組み立て体操完成
- ・ 最後で最高の組み立て体操
- ・ 成功を信じた最後の運動会
- ・ 小学校の思い出は組み立て体操

- ★ 完成
- ★ 最後で最高
- ★ 成功を信じて
- ★ 最高の一しゅん

みなさんも、いろいろな題名を考えてみよう。

A large empty rectangular box with four circles at the top, intended for writing a title. At the bottom left, a pencil character with a face and a bow is peeking out. At the bottom right, a house-shaped character with a face and a bow is peeking out. The box is flanked by two large downward-pointing arrows.